



Enzo Mari e diecimila milioni di alberi di sugi

エンツォ・マーリが取り組む100万の1万倍もの日本の杉の木

ENZO MARI AND TEN-THOUSAND MILLION SUGI TREES

エンツォ・マーリとの間に生まれたコラボレーションを語る

地球規模で森林資源の枯渇化が進むなか、日本の固有種である杉が戦後大量に植林されたまま、余り活用されずに放置されている。この矛盾を少しでも解決したいと、杉の家具づくりを思いついた。

そんな折に巨匠エンツォ・マーリ氏と出会い、彼のデザイン哲学に大きな共感を覚えた。日本の美を深く理解して日本刀を美の極致とみなす彼に、杉という和の素材で世界に向けた日本発の家具をぜひ開発して欲しい。その思いに突き動かされた。世界に引けを取らぬ我社の木工技術と、デザイン界の巨星である彼の発想が結びつけば必ずや素晴らしいものが出来ると確信したのだ。

現状を拒み、デザインとは何かを未だに追求し続ける真摯さ、それに自然を犠牲にしない物づくりこそが本物に近づく唯一の道と説く、彼とのコラボレーションは私共の大きな学びの場にもなっている。彼の思いを大切に受け継ぐことは、私たちの責務だと信ずる。想像以上の出来栄に目を見張られた今、このマーリ氏との出会いに心から感謝している。

飛騨産業株式会社

代表取締役 岡田 賛三